

医学英語

(English in Medicine)

【責任者/担当者】

〔英語〕古瀬 明里 教授

【担当者】

〔呼吸器・血液内科学〕	木島 貴志 主任教授、池亀 和博 講師
〔循環器・腎透析内科学〕	内藤 由朗 講師
〔消化器内科学〕	富田 寿彦 教授
〔消化器外科学〕	木村 慶 講師
〔泌尿器科学〕	兼松 明弘 教授
〔医学教育センター〕	今西 宏安 准教授
〔精神科神経科学〕	向井 馨一郎 助教
〔産科婦人科学〕	澤井 英明 教授
〔小児科学〕	柴田 暁男 講師
〔英語〕	作間 未織 准教授、丹治 美那子 助教

【目的】

医学の専門用語を習得することは必須の条件である。国際化の時代を迎え、英語によるコミュニケーションも重要であるが、医師の場合は専門用語の理解が前提である。

- ・最低限必要な医学英語(専門用語)を習得する。
- ・英語での診察の流れを理解する。
- ・英語で書かれた症例文の読み方を身につける。
- ・英語症例報告の書き方を理解する。

【科目キーワード】

医学英語(English in Medicine, medical terminology)

【到達目標(アウトカム)】

- 医学英語の成り立ちを理解し、活用できる。
- 接頭語、接尾語を説明することができる。
- 主要な臓器名、器官名、部位、疾患名、検査名、症状名などを英語で記載できる。
- 英文症例を読解することができる。
- 主要な疾病概念を英語で説明することができる。
- 英文症例報告の書き方を説明することができる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・英文で公表された医学的情報を入手し、英語の医学用語を理解できる。
- ・自己管理能力を身に付け、能動的に医学を学修できる。
- ・患者の症状と身体所見、検査所見の重要性を理解している。

・ICTを活用し、疑問点を解決するための情報を収集して評価することができる。

【概要ならびに履修方法】

演習科目であるため、原則全出席が必須条件。正当な理由のない欠席は認めない。やむを得ず欠席する場合は、必ず事前に科目責任者に連絡すること。詳しい講義内容、成績評価に関するシラバスは初回の講義時に配布する。

【準備学修ならびに事後学修に要する時間】

テキスト課題、レポート課題のための予習復習をすること。(毎回講義前後 90 分程度)

【成績の評価方法・基準】

定期試験(80%)および講義への参加、課題、小テストなどの平常点(20%)。

【学生への助言】

本授業は基本的にアクティブラーニング形式で行う。

【フィードバック方針】

定期試験実施後、希望者には解説講義を行う。

【オフィスアワー】

曜日:月曜日～金曜日 時間帯:11:40～12:40

【受講のルール、注意事項、その他】

積極的な受講態度で授業に取り組むこと。

【教科書】

随時プリント配布

【参考書】

特になし

【連絡先】

教育研究棟 5階 英語教員室・研究室